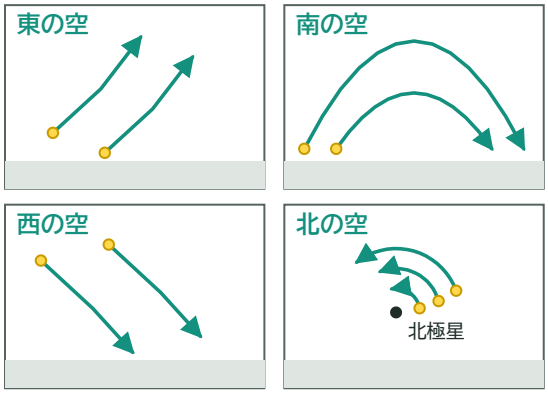
中3 理科 ポイント　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

地球 2 星の1日の動き(地球の自転)

＿＿＿月＿＿＿日

まとめ 星の日周運動と天球



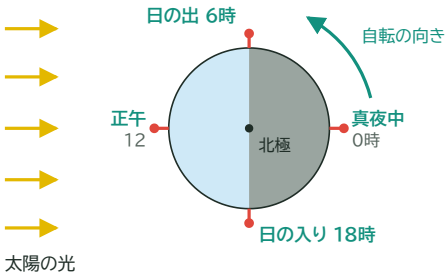
星は、東からのぼり、南の空を通って西にしずむように動いて見える。この1日の見かけの動きを**日周運動**という。

空を、地球を中心とする大きな球面にたとえたものを**天球**という。星は天球にはりついて動くと考える。

北の空の星は、**北極星**を中心に**反時計まわり**に回る。北極星は地軸の延長線上にあるので、ほとんど動かない。

● 星は1時間に約15°動く(360° ÷ 24時間)。太陽と同じ速さである。

図 地球の自転と時刻



地球は、北極と南極を結ぶ**地軸**を軸に、北極側から見て**反時計まわり**(西から東)に1日1回**自転**している。

自転のため、地球上の地点は、太陽の光が当たる昼の側と、当たらない夜の側を順に通る。太陽の光が当たりはじめるところが日の出、当たらなくなるところが日の入りである。

天体は、自転の向きとは逆の、東から西へ動いて見える。

表 方位ごとの星の動き

向いている方位	星の動き
東の空	右上へのぼっていく
南の空	左から右へ(東から西へ)弧をえがく
西の空	右下へしずんでいく
北の空	北極星を中心に反時計まわりに回る

例題 星の動きを計算する

(1) 北の空の星が、北極星を中心に75°動いた。何時間たったか。

75° ÷ 15° = **5時間**

(2) 東の空の星が、6時間たつと何°動いて見えるか。

15° × 6 = **90°**

ちりつもドリル 学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。